

# 中林春日神社 獅子舞の蚊帳

野々市市所有  
市指定有形民俗文化財  
指定年月日 令和5年7月1日



この獅子舞の蚊帳かやは、中林春日神社が旧蔵きゅうぞうしていたもので、市の有形民俗文化財に指定されています。

加賀地域の獅子の胴体は国内でも最大級で、この蚊帳も全長約7mもの大きさです。中林が町田半兵衛から獅子殺しの棒術を習得した明治20年(1887)代から大正時代にかけて染められたものと推測されます。

模様は、加賀獅子特有の巻き毛と牡丹文様ぼたんで、きわめて大胆に優れた筆さばきから当時の染色職人せんしよくの技量がうかがえます。



使われていた頃の写真  
(昭和40年代  
『富奥郷土史』より)